



(有)市原設計

**市原 博信**

〔設計専攻〕

## CPDに参加しよう

「建築士会に入会すると何かメリットが有るのですか」と時々質問されます。昨年8月、都営上高田2丁目住宅で行われた建築物応急危険度判定の模擬訓練に初めて参加しました。市の連絡会で判定方法は受講していますが、訓練とはいえ判定する難しさを強く感じました。荒れ果てた木造住宅を目前にすると、どうしても危険度の大きい方向へ判定してしまうのです(住む人の安全側?)。新潟中越地震の判定員の方々は非常に苦勞された事でしょう。ここ数年「SE構法」という、国土交通省認定の木質フレームシステムで木造住宅の設計、監理を行っています。仕口に金物を使用し壁、床で剛性を取り、構造計算に抛り部材を算定しているので、象でも、キリンでも、101人乗っても大丈夫ですが、工事、建物維持管理に当たっては設計、施工、施主の三者の協力で、先の都営住宅の状況にならぬよう努めています。以前、本会見学委員を任じられていたので、見学会へは積極的に参加し新しい建築を体験しています。最近富士通ソリューションを見学、新しいオフィスの考え方が特に印象に残りました。やはり昨年、設計事務所管理講習会で、1級建築士は31万人、その3、4割が設計業務に携わり、その内の7割前後が人員1~3人の事務所であると聞きました。CPDは「実務」と「研修」で構成されています。実務は自分で出来ませんが(厳しい状況)、1~3人事務所の一人としては、本会が行う講習会、見学会等の研修(=情報)は継続的能力開発の必須事項です。大崎駅東口と代官山地区の再開発、TDLトゥーンタウン等の大型物件、更にはオフィスリニューアル等の設監を行って来ましたので、設計分野は住宅ですがこれからも広く情報を収集し分野を超えた活動をしたいと考えています。冒頭の質問へは「CPDに参加して下さい。能力開発が出来ます。あなたのためになります」と、事務局に代わって答える事にします。